

QCサークル活動の導入

魅力あるQCサークル活動の導入

< 導入の5ステップ >

QC NET研究所
所長 高橋 博

ステップ

トップの理解

本部・支部・地区**選抜大会**への参加
最も理解し易い = = 実態把握

< 真の理解 >

頭で理解
頭で理解

行動で示す
行動しない
(部下任せ)

< 実行段階のポイント >

関心を行動で示す
目線を合わせる

ステップ

経営会議で導入決定

経営会議で導入を決定し
全社周知が不可欠 = = 活動公認

< 全員参加の周知 >

全員参加

ノケ者を無くす

上司も巻き込む

モデル試行

不公平感を生む

< ポイント >

活動への夢・期待を示す

全社的活動の位置付け

ステップ

導入準備(階層別教育)

教育は、**魁(上位者)**より始める

- (1) 推進責任者の任命と教育
本部「推進者コース」がお勧め
- (2) 拠点推進者の教育
地区「推進者コース」又は社内教育
- (3) リーダー層の教育
当初は社内リーダー教育がベター
* 初めから難問は避けるべし

教育
共育

< 教育内容 > QCサークルの基本 同活動運営の基本
 QCの考え方 問題解決手順 QC7つ道具
 === 体験学習など学ぶ楽しさの工夫を ===

ステップ

推進体制整備

推進組織

- ・全社の推進計画
(基本方針、教育計画、行事計画など)
- ・組織運営(各層の役割明示)

マニュアル整備

- ・サークル登録制度
- ・サークル活動計画
- ・活動進度報告
- ・評価表彰制度

* 上記に関する書類・帳票整備

< 推進上のポイント >

目で見えて判る活動の工夫

ステップ

サークル結成とキックオフ

サークル結成

自主的な結成

当初は第一線監督者がリーダーに

サークルの形態

・C型活動 ・T型活動

管理者は職場の状況を見て支援

キックオフ

全社的な活動としてスタートするため
キックオフ式など全社に周知できるよう
トップも含めたデモンストレーションを！

その後

キックオフ後の支援

テーマ選定の支援 < **テーマが決め手** >

* 身近な具体的テーマ

共通テーマにこだわらない

* 効果が実感できるもの

整理整頓などは避けるべし

日常活動の支援

* 活動の**時間**・場所の確保

* 腕(知識・技能)の確保・**OJT活用**

サークルと支援者の目線を合わせた活動

< 支援上のポイント >

テーマ完結・成功体験が不可欠